



今月の公開授業

「4技能を育成する取り組み」

～1年英語科～

山崎 泰代 1年8組 「コミュ英」

1年英語科では新大学入試に対応できるように4技能（聞く・読む・話す・書く）を育成する取り組みを行っています。特に、「話す」を重点に置いた授業の様子を5月2日（水）1限目に1-8の「コミュ英」で公開していただきました。

○なぜ「話す」に重点を置いたのか？

4技能のうち、「話す」を家庭学習で取り組ませるのは困難であるため、授業で取り組もうということを実践しています。

○ペアワークを実施

「習ったことを使って要約する」「あなたならどう考えるか？」についてペアワークを行っています。ローテーションでペアを替えて発表し合います。そのときに立たせたり、じゃんけんをして順を決めたりと工夫が見られました。

○聞き手の役割は重要

聞き手がうなずきながら聞くことで話し手は勇気を持って積極的に話すことができるため、聞き手の役割は重要です。

○評価の仕方

「話す」の評価の方法としてスピーチなどのパフォーマンステストと音読テストを行っています。

○取り組みの工夫

教員側が何を教えれば良いのかボンヤリしないために、レッスン毎に何をやるのかの意思統一を行う。2年生になってクラス替えがあって教科担任が変わっても生徒は戸惑うことなく授業を受けることができるメリットがある。また、内容を統一することでパワーポイントを共有できる。

○今後の課題

生徒が発表した内容を振り返る方法をどうすればよいか？振り返る方法の確立が今後の課題です。

⇒英語だけでなく、国語でも話した内容を振り返るために良い方法を探しているそうで、何か良い方法はないか？と質問があり、PT会議の中でも、この話題で盛り上がりました。

タブレット等で録音させる・音声を書きとめるアプリを利用するなど機材を活用すると良いのではないかなど様々な案ができました。

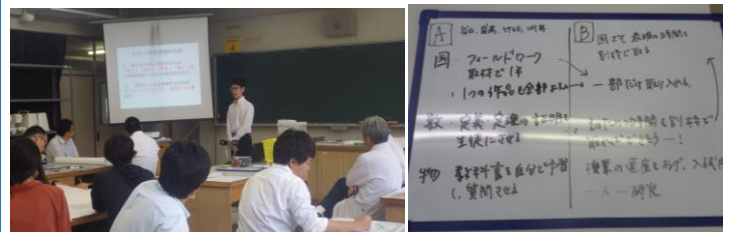
(職員会議での発表の様子⇒)



第2回PT会議より

5/17（木）16:30～被服室にて、第2回の授業改善PT会議を行いました。出張の先生方が多い中、飛び入りで来て下さった盛高先生・酒井先生・天谷先生・田中寿先生・平井先生に助けをいただきながら有意義な時間を過ごすことができました。急速、福井大学連合教職大学院から6名の先生方がお見えになり、ちょっと緊張した雰囲気の中行われました。山崎先生の代理として鈴木先生からの授業実践報告・英語科の取り組みの紹介がありました。4技能のうち「話す」について、生徒が話している内容をどのように振り返り指導すると良いのかについて意見交換が行われました。そのあと、相道先生から「社会を考える～福井大雪～、～セクシャル・ハラスメント～」「哲学カフェ～どんな親になりたいか～、～強い人～」の授業実践報告がありました。その後の研修では、「探究科で授業をするなら？」をテーマにグループごとに議論しました。最初に、A:常識にとらわれないで思いのままに話し合いを行い、次にAで考えたことを参考にB:現実的に考えて実現可能な取り組みについて話し合いを行いました。各班では探究科ということで「フィールドワークを1年間行う」「研究や開発を行う」など様々な活動を取り入れた授業を行えたら良いのでは？と考えているようでした。

最後に、福井大学連合教職大学院から来られた先生方から講評をいただきました。素晴らしい取り組みであるなどお褒めの言葉をいただきました。今年からPTに参加させてもらっていますが、このような取り組みを実践しようとするみなさんを誇らしく思います。県内に限らず、全国的に見ても先進的な取り組みであるPTにみなさんもちょっと参加してみませんか？



【ふたりごと】

- ・山崎先生の公開授業では、アクティブに活動するための工夫が随所に見られました。ペアワークでも発表者は立って話す、ペアが定期的に入れ替わるなど、自分の授業でも取り入れたいアイデアがたくさんありました。
- ・職員会議で決められた短時間で発表を行うPTメンバーのみなさんにもいつも感謝しています。しかも、伝える内容を精選し、的確に伝えることができている。自分が発表する番になったときは大丈夫なのでしょうか？今からプレッシャーを感じている今日この頃です。（5月担当 角正・野村幸）